

社会科学学習指導案

1 単元名 国力の充実をめざす日本と国際社会

2 考察

(1)教材観

①学習内容：現行の学習指導要領上の位置づけ

- ・本単元は、学習指導要領第6学年の目標(1)「国家・社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産について興味・関心と理解を深めようとする」とともに、我が国の歴史や伝統を大切に、国を愛する心情を育てるようにする。」に関する内容(1)ク「大日本帝国憲法の発布、日清・日露の戦争、条約改正、科学の発展などについて調べ、我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことが分かること。」に基づいて設定した。

②主な伸ばしたい資質・能力

- ・明治時代から大正時代におきた歴史的事象などについて関心をもち、意欲的に調べ追究する態度。
- ・明治政府が進めた近代化、条約改正や日清・日露戦争での勝利、韓国併合、近代産業の発達などについて追究し、我が国の国際的地位の向上について、調べたことや考えたことを表現する力。
- ・明治政府に関わる人物の業績、条約改正や日清・日露戦争、当時の人々の生活の様子や文化財などに関する資料や絵図から、課題解決に必要な情報を適切に読み取る技能。
- ・明治政府が進めた近代化、条約改正や日清・日露戦争での勝利、韓国併合により、我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことを理解する力。

③そのために必要な指導・学習活動

- ・ノルマントン号事件の風刺画や条約改正までの流れがわかる資料などを見て、疑問に思ったところや調べたいことなどを話し合い、それを基に単元の課題を設定する。
- ・解決の見通しがもてるように、帝国議会や日清・日露戦争などの絵図から追究内容や方法、学習計画を話し合う。
- ・単元の課題を解決するために、政治の仕組み、外国との関わり、科学・技術の発展の観点から追究をする。
- ・単位時間ごとに学習してきたことを基に単元の課題の結論について話し合い、まとめる。

④今後の学習の活用

- ・日中戦争や第二次世界大戦、日本国憲法の制定、オリンピック・パラリンピック開催などの事象から、戦後、日本は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきた学習へと発展していく。

(2)児童の実態及び指導方針(計〇名)

①既習の学習内容や活動

- ・「明治の新しい国づくり」の学習では、江戸時代と明治時代の日本橋付近の絵図を基に、疑問や調べたいことを考え「どのように新しい国づくりを進めていったのか調べよう」という単元の課題をたてて追究してきた。黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などの歴史事象に関わる人物について調べて、明治維新に活躍した人物が新しい国づくりにどのように関わったのか関連図にまとめてきた。そして関連図を基に話し合い、明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ国の近代化を目指してきたことを理解してきた。

②児童の実態

- ・江戸から明治における社会の変化を学習する単元では、意欲的に取り組むことができた。明治や大正といった時代の名前については知ってはいるが、その時代にどのような政治や社会の変化が起きたのかを理解している児童は少ない。教科書や資料集から単元の課題解決に必要な情報を読み取ることはできている。しかし、調べた事実と単元の課題にどのように関係しているか関連付けられていない児童もいる。

③指導方針

【「つかむ」過程】

- ・不平等条約によって日本が不利益を被り、条約改正の気運が高まっていったことを捉えられるように、ノルマントン号事件の風刺画を提示して、何が表現されたものであるのかを考える場を設定する。

- ・条約改正までの流れがわかる年表などの資料を提示し、疑問や調べたいことを伝え合い、それを基に単元の課題を立てる活動を設定する。
- ・単元の課題を解決するための学習計画を立てられるように、帝国議会、日露戦争の絵図や写真、明治・大正期の略年表を基に予想し、それを基に調べる観点を話し合う活動を設定する。

【「追究する」過程】

- ・明治政府の取組を多面的に調べられるように、観点毎に追究する活動を設定する。
 <政治の仕組み>…国会開設、大日本帝国憲法の制定と発布
 <外国との関わり>…日清・日露戦争
 <科学・技術の発展>…野口英世による黄熱病の研究、北里柴三郎のペスト菌発見
- ・視覚的にも理解しやすいように、2種類の色の紙を用意する。
- ・調べた事実が、条約改正にどのように関係しているか関連付けられるように、ワークシートに考えを書く枠を設けたり、矢印をかく等の工夫をする。

【「まとめる」過程】

- ・条約改正に成功した理由を話し合い、単元の課題の結論を出せるように、明治政府が行った政策や戦争での結果などを関連付ける活動を設定する。

3 単元の目標

- ・大日本帝国憲法の発布と国会開設、不平等条約改正、日清・日露戦争での勝利、韓国併合、近代産業の発達などの資料から必要な情報を選択して調べ、近代化を進め、欧米諸国と対等な関係を構築したことや世界の中の日本として近代化が進められたことを理解する。
- ・大日本帝国憲法の発布と国会開設、不平等条約改正、日清・日露戦争での勝利、韓国併合、近代産業の発達などについて関心をもち、政治や社会の仕組みの変化などを意欲的に調べる。
- ・大日本帝国憲法の発布と国会開設、不平等条約改正、日清・日露戦争での勝利、韓国併合、近代産業の発達などについての学習を通して、歴史事象を具体的に調べ、それらの時代の人々のはたらきを考え、調べたことや考えたことを表現する。

4 評価規準

社会的事象についての 関心・意欲・態度	社会的事象についての 思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
明治政府が進めた新しい国づくりに活躍した人物や条約改正に努力した人物、日清・日露戦争での勝利や韓国併合、近代産業の発達、世界で活躍する人物が現れたことにより、国際的地位が高まったことについて関心をもち、意欲的に調べ、考えようとしている。	明治政府が進めた新しい国づくり、条約改正や日清・日露戦争での勝利、韓国併合、近代産業の発達などについて問題意識をもって追究し、政治や社会の変化について考え、適切に表現している。	明治政府が進めた新しい国づくり、条約改正や日清・日露戦争での勝利、韓国併合、近代産業の発達などについて、絵図や年表、統計、地図などの基礎的資料を効果的に活用して具体的に調べ、調べたことや考えたことを目的に応じた方法で分かりやすくまとめている。	明治政府が進めた新しい国づくり、条約改正や日清・日露戦争での勝利、韓国併合により、我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことを理解している。

5 指導計画（全7時間予定）

学習過程	時	○ねらい ・学習活動	指導上の留意点	評価の観点			
				関	考	技	知
つかむ	1	○ノルマントン号事件の風刺画や条約改正への流れなどの資料を手がかりに、日本の国際的な地位が向上したことについて疑問や調べたいことを話し合うことを通して、単元の課題をたてることができるようにする。 ・ノルマントン号事件の風刺画や、条約改正についての疑問や調べたいことを話し合い、単元の課題をたてる。 単元の課題 どのようにして50年以上も続いた条約が改正されたのだろう。	・条約改正についての疑問や考えたいことを考えられるように、ノルマントン号事件の風刺画や条約改正までの年表などの資料を提示する。 ・資料から考えた疑問に思ったことや調べてみたいことなどを発表させ、児童の言葉を基に単元の課題を設定する。	○			○
	2	○条約改正ができた理由を予想し合うことを通して、学習計画を立てられ	・単元の課題を解決するための学習計画を考えられるように、帝			○	○

		<p>るようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・条約改正されるまでに起きた出来事を年表で調べ、調べていく観点を決めて、学習の計画を立てる。 	<p>国議会、日露戦争についての絵図や写真、明治・大正期の略年表からもった予想をし、調べる観点を決めさせる。</p>				
追究する	3	<p>○大日本帝国憲法の制定から発布までの流れや、国会開設について調べることを通して、日本に新しい政治の仕組みができたことを理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊藤博文が、国会開設に備え内閣の制度を整えたり憲法の草案を作ったりしたことなどを調べ、今までの政治との違いについて考える。 	<p>【調べる観点】</p> <p><政治の仕組み>…国会開設、大日本帝国憲法の制定と発布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ政治や社会の仕組みの変化が、条約改正につながったのか考える場を設定する。 			○	○
	4 本時	<p>○日清・日露戦争に至った経緯や戦後の様子などを調べることを通して、日本が戦争に勝利し、国の安全が確保されるとともに、近代産業の整備が進んだことを理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日清・日露戦争に至るまでの経緯や講和条約などを調べ、戦争での勝利がどのような意味をもつのか考える。 	<p><外国との関わり>…日清・日露戦争</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦争の勝利によって、なぜ条約改正につながったのか考える場を設定する。 			○	○
	5	<p>○世界で活躍した野口英世や北里柴三郎などの人物を調べることを通して、科学の分野などでも世界的に認められてきたことを理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野口英世や北里柴三郎の活躍などについて調べて、世界で活躍する科学者が現れたことが世界の人々にどのような印象を与えたのかを考える。 	<p><科学・技術の発展>…野口英世による黄熱病の研究、北里柴三郎によるペスト菌の発見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界的に活躍する科学者が現れたことが、なぜ条約改正につながったのか考える場を設定する。 			○	○
まとめる	6	<p>○条約改正に関わることについて学習してきたことを基に、単元の課題との関連を総合的に考える活動を通して、日本の国際的な地位が向上したことを理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習してきたことを基に、一人一人が課題に対する結論を考え、その根拠などをグループで話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習してきたことを整理できるように、相関図にまとめる活動を設定させる。 ・単元の課題の結論が出せるように、まとめた相関図を基にグループで話し合う活動を設定する。 			○	○
	7	<p>○課題に対する結論を話し合う活動を通して、理解をより深めさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで話し合った結論を学級全体に伝え共有し、単元全体の振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の理解を深められるように、学級全体で話し合う活動を設定する。 			○	○

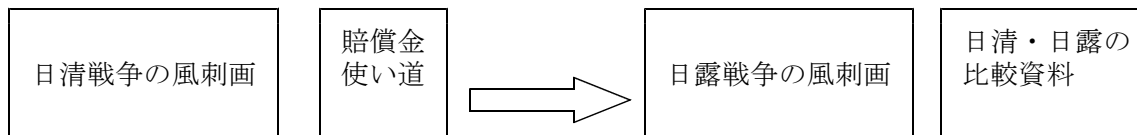
6 本時の展開 (4/7)

- (1) **ねらい** 日清・日露戦争に至った経緯や戦後の様子などを調べることを通して、日本が戦争に勝利し、国の安全が確保されるとともに、近代産業の整備が進んだことを理解させる。
- (2) **授業改善の視点** 調べた事実が、歴史上どのような意味をもつものであるかを考え記述させるワークシートを用意し、活用させたことは、日清・日露の2つの戦争での勝利が条約改正に大きく関連していることを理解するのに有効であろう。
- (3) **人権教育の視点** **判断力**：友達が調べた情報や考えたことに関心を持ち、自分の調べた内容や考えと比較することができる。
- (4) **準備** ワークシート 日清戦争の風刺画 賠償金の使い道の資料 日露戦争の風刺画 日清・日露戦争の比較の資料
- (5) **展開**

学 習 活 動 ・予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価)
1, 本時のめあてをつかむ。 ・ 前は、政治の仕組みについて調べて、新しい政治の仕組みができたことで条約改正につながっていったことを学習してきたな。 ・ 海外との関わりと、単元の課題とはどのように関わっているのかな。	5	・ 前時の学習を想起できるように、ワークシートを確認するよう促す。 ・ 本時の学習の見通しをもつことができるように、単元の課題や学習計画を確認するよう促す。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> めあて 日清・日露戦争について調べて、条約改正とどのように関わっているか考えよう。 </div>		
2, 一人一人が、日清・日露戦争について教科書や資料集を活用して調べる。 ・ 日本は清に勝って、賠償金や台湾などの土地などを受け取ったのだな。 ・ 日露戦争では、日清戦争よりも多くのお金や戦死者を出したのだな。 ・ 日本は大国のロシアにも勝利したのだな。	20	・ 解決に必要な情報が教科書のどこに記載されているか問いかけるとともに、そのページを板書して示す。 ・ 日清・日露戦争の結果や、戦争後の講和条約などについて、ワークシートにまとめるよう促す。 ◎情報を集める際は、条約改正との関連に着目するよう助言する。 ・ 調べた情報を修正・補完できるように、座席が近い児童同士で確認するよう促す。
3, 学級全体で、整理した情報を基に考察する。 ・ 2つの強大な国に勝利したことで、世界から認められたのだな。 ・ 賠償金などを使って、さらに強くなっていったのだな。	15	・ 戦争での結果や、講和条約の内容がどのように条約改正に関わっているのか考えられるように、「日本の勝利に対して、アメリカなどの国はどのように思ったのか」などと問いかける。 ・ 調べた事実と考えが視覚的にも区別できるように、それぞれを場所や色分けして板書する。
4, 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。 ・ 戦争での勝利によって海外に認められたから条約改正できたことがわかったよ。 ・ 次回は科学の発展が、どのように条約改正に関わっているのかまだわからないから調べるぞ。	5	・ 「2つの戦争での勝利」や「軍事力が上がった」などの言葉を基に、児童に本時のまとめを記述させるとともに、板書して共有させる。 ・ 学級全体で、解決したことを整理できるように、「わかったことは何か」と問いかけ、ふりかえるよう促す。 ・ 次時の学習の見通しがもてるように、学習計画を確認するよう促す。

7 板書計画

教 P120~121 日清・日露戦争について調べて条約改正とどのように関わっているか考えよう
 資 P75



- 日清戦争
 朝鮮半島をめぐって
 日本の勝利
 ・ 下関条約
 台湾と遼東半島をゆずり受ける

↓
 日本の軍隊は強い
 賠償金を使ってさらに強くなる

つまり？ 日本の軍隊は世界に認められるほど強くなり
 アメリカなどの国は無視できなくなり
 条約改正できた。

- 日露戦争
 満州をめぐって
 日本の勝利
 ・ ポーツマス条約
 韓国からしりぞく
 ↓
 ヨーロッパの国に迫りついてきた